

「第10回 四国におけるCNP形成に向けた勉強会」開催報告

四国地方整備局では、CNPに関する知見を深め、脱炭素化に向けた取組を官民で連携して継続的に推進させるため、令和3年度より学識経験者や四国の民間事業者等をメンバーとした「四国におけるCNP形成に向けた勉強会」を開催しており、今般、今年度2回目となる第10回勉強会を開催しました。

今回、事前に事業者を実施したアンケート結果を踏まえ、行政機関からの情報提供や脱炭素化に向けた新技術について情報提供を行いました。

○日時：令和7年2月28日（金）10:00～12:00（WEB）

○参加機関：学識経験者（愛媛大 森脇教授、高知工科大 西内教授、谷グリーンエネルギー研究所 谷代表取締役）
民間事業者、港湾管理者、関係団体、金融機関、国等関係機関 計86者

○議事

1. 開 会
2. 行政機関からの情報提供・取組の報告
 - 1) 国土交通省港湾局からの情報提供（CNPの今後の展望について）
 - 2) 四国地方整備局からの情報提供（脱炭素化に向けた新技術のとりまとめ・アンケート結果の報告）
3. カーボンニュートラルに向けたミウラの取組 / 三浦工業株式会社
4. 意見交換
5. 閉 会

【学識経験者からの主なご意見】

- ・CNPは一つの業界だけで取り組んでできるものではなく、国や地域の機関と共に一体感を持って進めていく必要がある。
- ・今後、水素・アンモニアだけではなく、メタノールやバイオマス燃料など様々なエネルギーの組み合わせが重要になってきており、今後、多様性がある中で、同時並行で進んでいくことも考えられる。
- ・新技術に関する情報提供が、アンケート結果に基づく事業者等のニーズを踏まえて設定されたことは、非常に良いと思う。今後も事業者等のニーズに応えられるような勉強会としていただきたい。
- ・今回ご紹介頂いた多くの先行事例や技術がある中で、地域の特徴に合わせて技術を組み合わせることで最適化を図っていくことが重要である。